

創刊号

町自連だより

発行/八王子市町会自治会連合会 発行責任者 田中 好雄
〒192-0063 八王子市元横山町1-29-3 ☎48-6110

第三回定期総会報告

五月二十九日に八王子エルシーに於いて、百四十一名の町会自治会長が出席して開催された。

田中会長は挨拶で、三者統合による「町自連」発足で存在価値が認識され、市から各町会自治会に支給される「事務交付金」が改定された。また、市が実施した「ゴミ有料化」も説明会等で全面的に協力し、市民の理解を得る努力をした。中央自動車道の三多摩格差「下高井戸く八王子間の料金撤廃」の署名運動に取り組む等、活動の特徴を述べ各町会自治会の協力を謝意を述べた。

議案については、すべて原案通り承認。

主な質疑応答は次の通り。

Q1 「体力づくり」の補助金カットを町自連は了承しているとのことだが如何。

A1 話もなく了承していない。役員会では、「一部の人たちによって運営されている」との意見があるが、この問題は推進協議会・運営委員会の問題。

Q2 特別会費の明細は如何。また、特別会計にしてスリム化しては?

A2 その都度役員会に決算報告し、地区連合会長に配布済み。また、簡素化については考える。

Q3 特別会計の百五十万円は何か?

A3 町自連が結成されたときに、旧町総連の繰越財産を積み立てたもの。

Q4 事業計画で、交通・防犯・防火に、防災を加えてほしい。また、パソコンが導入されるが「町自連だより」のほか、メールやホームページでも情報発信することを検討してほしい。

A4 計画に防災を加えることは、「防火協会」が「防火防災協会」に名称変更されたので追加する。また、新たに発行する「町自連だより」は各地区連合会の情報も掲載する。メールやホームページを町会自治会で開設していることは承知しているが、全体の体制も考慮しながら判断したい。

尚、総会終了後引続き、黒須八王子市長、萩生田市議会議長、石川教育長をはじめ、地元選出の国会・都議会議員ほか関係団体の来賓を交えて懇親会を開催し、和やかな雰囲気の中で懇親を深めた。

新役員名簿

会長	田中 好雄(川口)
副会長	高橋 堅二(中央)
"	細井 衛(加住)
"	伊藤 義正(横山)
"	秋間 利久(元横)
会計	林 泰男(由木)
"	安藤 次夫(浅川)
監事	山本徳太郎(北野)
"	小俣 武二(元八)
事務局長	前野 修

新地区連合会長名簿

中部地区	平塚 美臣
東部地区	森 泰男
元横地区	秋間 利久
東南部地区	栗原 博
中央部地区	青木 正明
南部地区	大和田榮久
千人町地区	川端 忠雄
西部第一地区	馬場 總和
西部第二地区	栗林 栄子

西部第三地区	関 一郎
西部第四地区	串田 明
本町地区	塩野 良光
中央地区	高橋 堅二
東北部地区	坂本 保雄
浅川地区	安藤 次夫
由木地区	林 泰男
横山地区	伊藤 義正
元八地区	小俣 武二
恩方地区	今泉 満政
川口地区	田中 好雄
加住地区	細井 衛
由井地区	茂木 次雄
北野地区	山本徳太郎

「町自連」の活動の基本姿勢!

私たちは、行政機関や関係機関に「市民の声」を届けると共に、入手した情報は市民に提供し利便性の向上を図る。私たちは、町会自治会の自主性を尊重し、地区連合会の活動を基本に、相互の情報交換をはじめ広域にわたる問題を取り上げて、関係機関と協議し改善を図ると同時に親睦を深める活動を展開する。私たちは、未加入の町会自治会に参加を呼びかけ組織の強化を図る。

発刊に寄せて

会長 田中 好雄

八月九日夜、日本人宇宙飛行士・野口聡一さんを乗せたスペースシャトル・ディスカバリーが無事地球に帰還しました。野口さんが少年時代を過ごした神奈川県茅ヶ崎市の地元は、その瞬間を自分のこのように喜び合い歓声にあふれたといえます。私は、こうした光景を目の当たりにするたびに、地域社会が持つているやさしさと愛情を感じずにはいられないのです。

「ロケットの操縦士になりたい」と、宇宙への夢を育んだ野口少年も、きつと地域の人たちとの計り知れないほどの係わりがあり、たくさんの経験や教訓、そして叱咤があったはずです。そうした素晴らしい地域社会があったからこそ、少年は夢を育み、夢を現実のものにできたのではないのでしょうか。

地域には様々な課題が山積しています。安全や防犯、青少年教育、環境問題など、ど

れをとつても一朝一夕に解決できるようなものではありません。と云って、行政に頼るばかりではいけないでしょう。地域には地域の役割と責任があるはずで、地域にできる最大の取り組みは、あらゆる場面に対応できる地域社会のまとまりと行動力であると思います。

そうした意味で、平成十四年に八王子市内全域を網羅した町会自治会連合会が発足し、

全地域の住民が共通認識の基に、地域を越えた活動が可能

になったことは真に心強いものであります。昨年十月に市

が実施した「ゴミ有料化」と「ごみ減量」と「資源化」の

取り組みが成功したのも、それ

ぞれの町会自治会が一丸とな

って努力した結果であり、地

域住民が環境に対する強い思

いを持ち続けたからであるこ

とは明白であります。また、

治安維持のため「安全パトロール」の実施も町会自治会の

活動なしでは考えられないものになっていきます。

ような地域社会の創出が力。そのためには、地域に住む人々の心を動かす原動力―先程の野口さん帰還のニュースを地元で喜び合えるような 郷土愛 を大切にしていきたいと考えています。

これまでの行政の取組みに心から感謝申し上げ、今後とも市民が心をつなげた住民自治が推し進められていくことを願って止みません。

八王子市長

黒須 隆一



八王子市町会自治会連合会が発足してから、早いもので四年目を迎えました。その間田中会長をはじめ役員の皆様には行政への心強いパートナーとして様々な面でご協力をいただき、お蔭様で協働によるまちづくりの推進が図られてまいりました。それぞれ

の町会活動のほかに連合会の役員として熱心に活動されている皆様のご尽力に対し心から敬意を表するとともに厚く

御礼申し上げます。

さて、これまで町会自治会には、地域住民と行政を結ぶ

基礎的な組織として、大変重要な役割を果たしていただい

ております。町会活動に深く関わる方々にとって、それは

まさに自明のこととは存じますが、近年においては住民の

ライフスタイルの変化などから、非常に残念なことではあ

りませんが、地域での人間関係が希薄化し、町会への加入率

も低下傾向にあります。

これからのまちづくりにおいては、市民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちでよ

くしよう」という住民自治と

共助の意識を持つことが大切

であり、そのためにはまず町

会の運営に関わっていただく

ことが大変重要であると思

います。自分たちが関わるこ

とによって町に良い変化が起

る、そしてそれを実感すること

が町会の発展を支える基盤

ことをご期待申し上げます、お祝いの言葉といたします。

八王子市議会議長

飯沢 俊一

八王子市町会自治会連合会の機関紙発行にあたりまして、会員各位のご努力に心から敬意を表するものでございます。

八王子市町会自治会連合会は、平成十四年に当時の町会総連合会と中央連合町会が合併し発足、さらに浅川地区町

会連合会を合併し、現在は三百十三団体、約十二万世帯を

有する大組織となっております。

今、地域社会を支えているのは町会や自治会の皆様であり、行政と地域社会とを太い

パイプで結び、地域の安全や環境の問題、福祉の問題に積

極的に取組んでいただいております。

また、八王子市の各審議会に多くの委員を選出していただき、市政においても

ご支援をいただいておりますことに、あらためて敬意を表するものでございます。

現在は情報化社会というこ

とで様々な情報が簡単に入手できる社会ですが、このたび

機関紙発行で、これまで以上に身近な情報が町会自治会連合会から発信され、市民相互のコミュニケーションの輪がますます広がることを期待しております。

八王子市議会としても、行政と地域社会の結びつきをさらに確かなものとするため、全力で努力する所存でございます。

終わりに、八王子市町会自治会連合会のさらなるご発展と会員各位のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

以上、お忙しいなか、黒須市長及び飯沢議長から「発刊によせて」のコメントを頂きありがとうございます。

主な活動報告

事務交付金一世帯三〇円 値上げ実現!

行政と住民の橋渡し役である町会自治会は、住民の意向

を行政に届けるほか、行政から住民に対する配布物や回覧による「意思の伝達役」、関連機関の会員募集・募金業務の「取りまとめ役」等、行政がらみの役割をこなしている。

更に、「交通安全協会」「防犯協会」「防火防犯協会」は各々一世帯二〇〇円分担保金も負担している。一方、市の「事務交付金」は均等割り一〇万円のほか一世帯一九〇円、町会自治会で使えるのは差引き一世帯一三〇円が事実上の事務交付金である。

管外視察研修等で、他市の行政と町会自治会との関係を調査した資料を基に「事務交付金」の改定を強く申し入れてきたが、厳しい財政状況の中で、ようやく認められて改定された。

一世帯三〇円の値上げは、決して満足できるものではないが、厳しい財政状況の中で実現したことを十分理解して頂きたい。

今後、行政との「協働のパートナー」として、意見ははっきり発言し、協力すべきことは協力する。このことを基本に行政と関わっていくことが必要である。

広報活動強化のため

町自連会費一〇円値上げ

町自連発足から三年が経過し、各地区連合会の活動も軌道に乗ってきたが、一方でまだ軌道に乗っていない地区も見受けられる。

「町自連は何をしているのか」との声が耳に入ってきていることも事実である。やはり地区連合会の活動報告等の情報を会員に提供していくことで、活動に参加し他地区の活動を活かす等活性化できる。このことで今回会費の値上げをお願いした。皆さんのご理解に感謝すると同時に「町自連だより」の継続発行することで応えていきたい。

中央自動車道

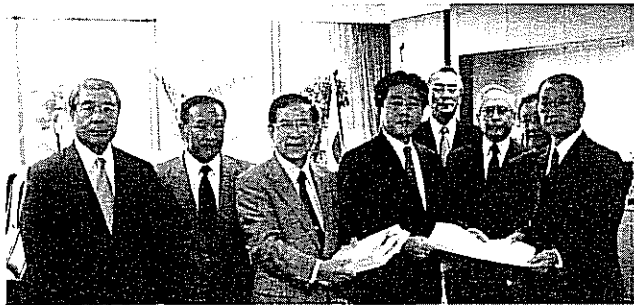
下高井戸く八王子間の

料金撤廃の署名運動

今年一月、皆さんにお願いした「三多摩格差」を無くすための「税金」と「料金」の二重払いをやめる署名活動は、皆さんの協力により八王子市全体で一七二、七五四名の

署名が集まり、内、一三六、四三四名は町自連で集めたものである。

五月二十七日、田中会長は多摩地区選出国会・都議会議員、東京都市長会・町村会代表、東京都議会議長会・町村議会議長会代表、八王子商工会議所会頭と共に、国土交通省・北側大臣へ直接面会し、要望の趣旨を伝えすべての署名簿を提出してきた。



皆さんに集めて頂いた署名活動に対し、経過を報告すると同時にお礼を申し上げます。

JR八王子駅北口駅前丸井跡地にパチンコ店出店問題!

二月の役員会に、駅前の丸井跡地にパチンコ店が出店する問題で、地元で反対運動が起きている旨話がでた。

「駅前の浄化運動に水をさす」「青少年の健全育成に良くない」「病院の敷地から二〇m以上離れていないため条例違反」等の理由で反対の署名を展開しているのが協力依頼があり対応することになった。

署名は、六六、七七三名集まり、東京都公安委員会に提出した。尚、町自連では三三、八三一名の署名を集めている。特別事項等もあり難しい状況だが、今までこれだけの署名が提出されたケースがないだけに、通常ならば四月中に許可が下りるものが、署名の重みから慎重に検討された。

結果としては、差し止めに至らず八月にオープンした。

大臣からは、民意の重みをしっかりと受け止めて、今後の方針についてもきちんと議論することを約束して頂いた。

が、皆さんのご協力に感謝し、お礼を申し上げます。

地域のあれこれ

犯罪のない町づくり

元横地区連合会

会長 秋間 利久

最近、新聞・テレビ等で幼児子供や女性が巻き込まれる事件が多発している。元横地区は浅川を背にして駅にも近く交通の便も良くのどかな生活のしやすい住宅街だが、夏ともなると雑草は背丈ほど伸び視界を悪くしているため不安を感じている。

このようなかで元横山町第二町会では、地域の安全と子どもたちの健全育成のため、防犯パトロール隊を結成することになった。名称・組織作り等正式な形では決まっていないが、先ずは行動を起こし今年の夏は女性や子どもたちを犯罪から守る地域安全のためにパトロールを実施することにした。

町会役員・組長・一般市民

に呼びかけ、毎週土曜日の夜に町内の防犯パトロールを行っているが、回を重ねる毎に参加人数も増えて、いろいろな提案や要望も出されて活気あるパトロール隊に発展しつつある。今後、学校・地域団体等と呼びかけてともに協力し合って犯罪のない安心して生活できる町づくりを目指して、まだ模索中ですが見えな

い大きな力が動きつつあるのが肌感じられる。一つの輪が大きな輪となり安全で安心な街づくりができるよう皆さんの更なる協力を願っている。

地域の願いごと

浅川地区連合会

会長 安藤 次夫

浅川地区連合会は二十二町会で六、〇七八世帯を擁し、地域内は広大な多摩御陵、林業試験場、高尾山薬王院、みころも霊堂等観光地である。

交通問題では、JR高尾駅、京王線高尾駅と高尾山口駅、高速道路では中央道があり、一般道では甲州街道(国道二〇号)、高尾街道、町田街道

北野街道があり、交通の要所となつているため土・日曜日には交通渋滞がある。対応策として、圏央道と中央道との接続ジャンクションが平成十八年に完成予定となつている。関連工事では荒井町会・摺指町会・南浅川町会地域では工事現場を抱え大規模工事が進行中である。甲州街道では高架構造が建ち、館町中である。

懸案事項では、トンネル高架構による電波障害は八王子テレメディアが入り解決したが、騒音、車の排気ガスによる環境問題は協議中である。又、公園・グラウンド等の施設等も要望していききたい。具体的な要望事項としては

- 一、高尾駅南北自由通路橋上駅とした改造計画を早期に進めること。
- 二、高尾駅北口バス・車両ターミナルの渋滞緩和拡張改造計画の実現。
- 三、中央線初沢踏切の拡幅計画の実現。
- 四、高尾駅南東の都有地の民間への売却に歯止めをかける。バス等の駐車場とし

て活用すること。

の四項目を要望する。高尾地区は公共用地が多く有効利用と有効活用を要望する。

ニュータウン地区のコミュニケーション!

由木地区連合会

会長 林 泰男

昔は三分の二が山や田畑だった由木地区も、昭和三十九年に八王子市に合併し、人口も六千人位であった。

多摩ニュータウンの開発により、山は削られ各谷戸にあった田畑は造成され、今では人口も九万九千人余りとなり、町会・自治会・管理組合の数も百十五以上にも達している。四〇年前と比較すると十五倍となっている。しかし、多摩ニュータウンに住む人々との交流が中々スムーズにいかないのが現実である。

市の事務所、市民センターも由木中央・由木東・南大沢と三カ所あり、活動も市民センター祭りも別々、由木中央が十一月、由木東が二月、南大沢が十月と開館当初の月に合わせて行われ、内容もそれぞれ特色ある祭りが盛大に行

われる。

また、由木地区では八王子市の三大祭の一つとして「フラワーフェスティバル由木」が五月の初めに行われる。市民センターの役員・町自連等の協力により盛大に行われ、近隣の町田市や多摩市からの参加者も多いようである。

由木地区連合会は十七町会自治会であるが、地区の運動会を始め、町会自治会ごとの「お祭り」盆踊り」は楽しく盛大に行われている。

編集後記

町自連発足から三年の歳月が経過したが、活動状況などを報告し理解を得る場が少ないため、広報紙発行の編集委員会が設置され、委員一同力を合わせて作業を進め発刊することができた。原稿依頼にも快く応じて頂き、作業もスムーズに進めることができ「五重の塔も下から組む」といった諺のように、今後を着実に作業を進め皆さんのご期待に沿うべく内容の充実を図り、皆さんに親しまれる広報紙づくりを目指す所存です。今後共ご支援をお願いします。

編集責任者 高橋賢二
編集 森泰男・串田明・前野修